

実物大のスペースボリュームを木造架構でつつんだ家

所在地：広島県福山市  
 設計・総合：kt一級建築士事務所  
 構造：A.E.R.O  
 施工：井上建設  
 構造/規模：木造/2階建  
 面積：(敷地)487.77㎡  
 (1階) 89.79㎡  
 (2階) 67.20㎡  
 (延床) 156.99㎡  
 竣工：2007年10月

屋根の構成：ガルバリウム鋼板t88  
 折板葺き  
 タイトフレーム  
 垂木45×45  
 スタyroフォーム  
 防湿シート  
 構造用合板t24



玄関から1階リビングと2階子室を見る



居間から玄関方向をみる

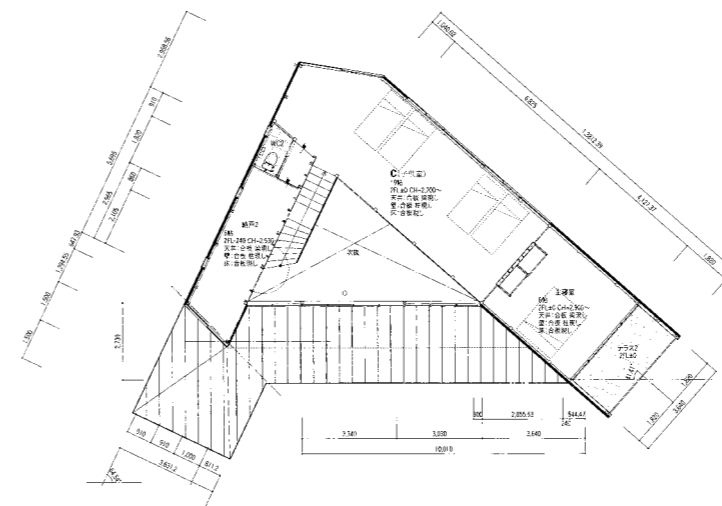


建物外観

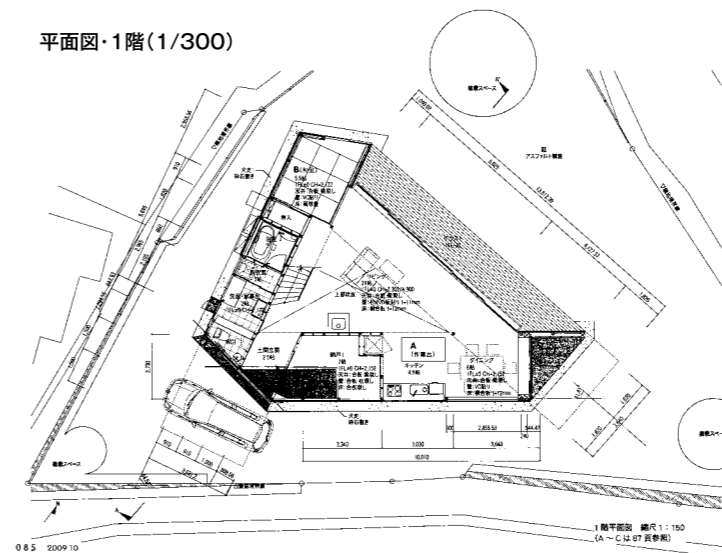


居間からテラスへのつながりを見る

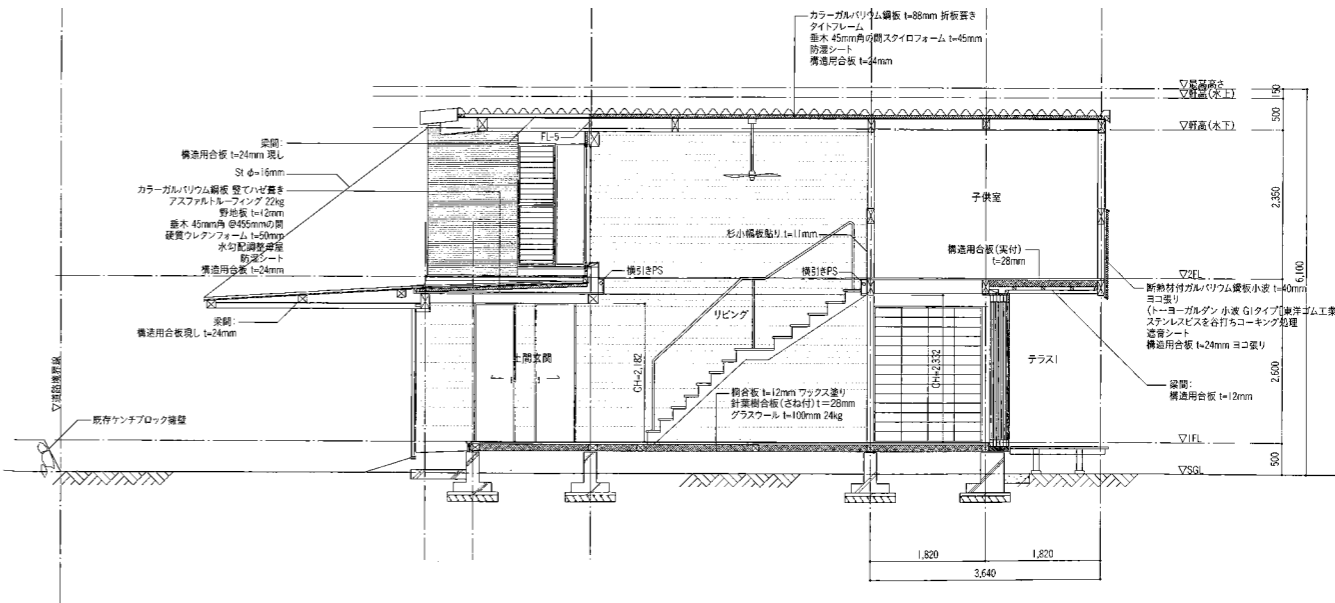
平面図・2階(1/300)



平面図・1階(1/300)



断面詳細図(1/100)



住宅について

見事な三角形に舗装された駐車場。一边は交通量の多い広い坂道に面し、その先は土手で上には見事な桜。一边は見上げばかりの雑木林。その先はグッと落ちて小さな川になり、またその先には主要国道が通っている。そのような素晴らしい環境のなかで、夫婦と子供4人が住む家を計画した。周辺の特徴や、この土地の持つ「勢い」を建築化したいと思った。1階は雑木林に開き、広い道路と西日には閉じた北に開くV字型。そして2階は桜と太陽に開き、他は閉じた南に開くV字型。この二つの方向の違うV字型を重ねてこの住宅は出来ている。リビングから見上げれば土手に桜が、そして明るい林が北側に開いている。そのような三角形の家が出来た。

屋根と合板について

この建物はシンプルな工法で出来ている。周囲の地勢から出来たV字型が重なったボリュームをつつむ屋根は、集成材の架構、厚物の構造用合板、断熱材と金属板で構成され、外壁の仕様も同じである。内部は構造体と合板が全て見え、誰にでも力の流れが分かる。また木造架構現しの場合いつも悩ましい設備ルートは、2階の床レベルで家の中心の吹き抜け廻りに横向き一周設備用ルートを設けた。そこに1、2階の電気配線と照明器具、エアコンの配管が入っている。構造・設備共に大事にしたことは「分かりやすさ」である。